

2024 年 10 月 6 日(日) 於：ウェルビュー 鹿児島 (参加者 277 名)

楊崇先生に放鬆を学ぶ。

柔らかくキレのある演舞に魅了 西地域 堀昭一

大会後、懇親会では楊崇先生による演舞のご披露。
楊崇先生は、祖父楊名時先生、父楊進理事長のお導きにより、幼い頃は長拳はじめ器械、のち伝統太極拳を楊進理事長より学び、天津の郭福厚老師(※1)に拝師され、楊名時太極拳の源流である伝統太極拳の修練を積まれています。

楊名時先生が、楊名時太極拳の稽古における大切な要諦として選定された二十四の稽古要諦は、伝統太極拳の文献より選ばれており、楊崇先生は、その伝統太極拳に精通する楊名時太極拳の師範として、各支部でも講義をされ、この度、楊進理事長と共にご来鹿の栄を賜りましたことは、この上なくありがたいことです。

今回は、孫式太極拳と鞭杆(※2)の演舞をご披露いただきました。楊崇先生の美しくキレのある柔らかな動きに大会での楊進理事長のご講話のメインテーマでありました「放鬆」を目の当たりにできたのは感動を超える喜びでした。真似ができるものではなく、体得することは容易ではございませんが、素晴らしい演舞をご披露していただき、心より感謝と御礼を申し上げます。今後の稽古に活かし、次回、八段錦、24 式太極拳の実技と要諦もご教示いただければと願っております。

※1 郭福厚老師(かくふくこうろうし)

幅広い人脈をお持ちの楊名時先生が、太極拳の分野で深く交流をされた李天驊老師(隨化24式太極拳編纂の中心人物)の父・李玉琳老師の直弟子。また、楊進理事長の同門の叔父弟子にあたる。

※2 鞭杆(べんがん) ※楊崇先生は日本の第一人者。

発祥の地は師家の故郷山西省。健身法としても優れ、「武器を体の一部とし、体幹の使い方を武器に教えてもらえろ」と楊崇先生。

海江田名誉顧問 長寿功労者表彰

初代支部長として支部設立以来ご尽力を賜わり健康長寿で活躍されるお姿は会員の鑑です。益々のご健康ご長寿を心より祈念申し上げます。

2024 年大会を振り返って

大会実行委員長 中村 和美

今回は桜島を正面に眺められ、大会と懇親会で移動がない会場を選定、都合上、私が実行委員長を引き受けました。実行委員会で協議を重ね、協力しながら準備に取り組んでいただきました。私は委員長として会場との連絡・調整を行い、記念誌とスライドショーの編集をしました。当日は各担当が役割を果たし、大勢の会員の参加もあり、海江田名誉顧問から「盛会でした。よく務められた。」とお言葉をいただき大会は盛況の裡に終わることができたと安堵しました。ご尽力をいただいた実行委員と関係者の皆様、大会後の総括で貴重なご意見をいただいた皆様へ、心より御礼申し上げます。

※百花拳の演舞写真はホームページに掲載しております。



为了明天
「和み心」を未来へ繋ぐ

ご参加いただいた277名の皆様、ありがとうございました。再見。